

令和 7 年度 病院情報の公表の集計条件等について

1. 目的

- ・医療機関の DPC データの質の向上
- ・医療機関の DPC データの分析力と説明力の向上

2. 集計項目

2-1 病院指標

- ① 年齢階級別退院患者数
- ② 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）
- ③ 初発の 5 大癌の UICC 病期分類別ならびに再発患者数
- ④ 成人市中肺炎の重症度別患者数等
- ⑤ 脳梗塞の患者数等
- ⑥ 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）
- ⑦ その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

2-2 医療の質指標

- ① リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率
- ② 血液培養 2 セット実施率
- ③ 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率
- ④ 転倒・転落発生率
- ⑤ 転倒転落によるインシデント影響度分類レベル 3b 以上の発生率
- ⑥ 手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率
- ⑦ d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率
- ⑧ 65 歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合
- ⑨ 身体的拘束の実施率

3. 集計条件および集計方法

《共通項目》

- ・令和 7 年 6 月 1 日から令和 8 年 5 月 31 日までの退院患者で算出。
- ・入院した後 24 時間以内に死亡した患者又は生後 1 週間以内に死亡した新生児は集計対象外。
- ・医科レセプトのみ（自動車賠償責任保険や労災保険、自費等の患者は含まれない）。
- ・10 未満の数値の場合は、「－」で表記。

《個別項目》

【病院指標】

①年齢階級別退院患者数

- ・年齢階級別（10 歳刻み）の患者数を示す。
- ・年齢階級は 90 歳以上を 1 つの階級として設定する。

②診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

- ・各診療科別に患者数の多い DPC14 桁分類について DPC コード、名称、患者数、自院の平均在院日数、全国の平均在院日数、転院率、平均年齢、解説を示す。
- ・DPC コード別の件数となるので、高額薬剤使用等の理由で出来高請求となっている患者は含まれない。

③初発の 5 大癌の UICC 病期分類別ならびに再発患者数

- ・5 大癌（胃・大腸・乳癌・肺癌・肝癌）について初発患者は UICC の TNM から示される病期分類による患者数、再発患者は期間内の患者数とする。
- ・患者数は延患者数とする。

④成人市中肺炎の重症度別患者数等

- ・成人の市中肺炎につき、重症度別に患者数、平均在院日数、平均年齢を示す。
- ・重症度分類は、A-DROP スコアを用いる。重症度分類の各因子一つでも不明な場合は「不明」と分類する。重症度の計算には年齢・性別因子を考慮する。

Age（年齢）	男性 70 歳以上、女性 75 歳以上
Dehydration（脱水）	BUN 21mg/dL 以上または脱水あり
Respiration	SpO2<=90%（PaO2 60Torr 以下）
Orientation（意識障害）	意識障害あり
Pressure（収縮期血圧）	収縮期血圧 90mmHg 以下

※5 点満点で、1 項目該当すれば 1 点、2 項目該当すれば 2 点。

軽症：0 点の場合

中等症：1～2 点の場合

重症：3 点の場合。

超重症：4～5 点の場合。ただし、ショックがあれば 1 項目のみでも超重症とする。

不明：重症度分類の各因子が 1 つでも不明な場合。

⑤脳梗塞の ICD10 別患者数等

- ・脳梗塞の患者数、平均在院日数、平均年齢、転院率を示す。

⑥診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

- ・診療科別に手術件数の多い順に 5 術式について、患者数、術前日数、術後日数、転院率、平均年齢を示す。
- ・同一手術において複数の手術手技を行った場合、主たるもののみカウントする。
- ・輸血関連（K920 \$）は除外。
- ・創傷処理、皮膚切開術、非観血的整復術、徒手整復術、軽微な手術、および手術医療機器等加算は除外。

⑦その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

- ・個々の様式 1 の最も医療資源を投入した傷病名が播種性血管内凝固(DPC6 桁 130100)、敗血症（DPC6 桁 180010）、その他の真菌症（DPC6 桁 180035）、手術・術後の合併症（DPC6 桁 180040）について、入院契機病名（DPC6 桁レベル）の同一性の有無を区別して症例数をカウントする。

【医療の質指標】

①リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

- ・（分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数÷肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数）×100

②血液培養 2 セット実施率

- ・（血液培養オーダーが 1 日に 2 件以上ある日数÷血液培養オーダー日数）×100

③広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率

- ・（分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数÷広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数）×100

④転倒・転落発生率

- ・（転倒・転落の発生件数/ 入院患者延べ数）×1000

⑤転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率

- ・（インシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落の発生件数÷入院患者延べ数）×1000

⑥手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率

- ・（分母のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数÷全身麻酔手術で、予防的抗菌薬投与が実施された手術件数）×100

⑦d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率

- ・（除外条件に該当する患者を除いた褥瘡（d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡）の新規発生患者数÷除外条件に該当する患者を除いた入院患者延べ数）×100

【除外条件（分母）】

- ・ 同一の日に入院及び退院した患者
- ・ 入院時刻から24時間以内に発生した褥瘡（d1, d2, D3, D4, D5, DTI, U）を持つ患者
- ・ 入院時既に褥瘡（d1, d2, D3, D4, D5, DTI, U）のいずれかの褥瘡保有が記録されていた患者
- ・ 調査対象期間より前に褥瘡（d1, d2, D3, D4, D5, DTI, U）の院内発生が確認され、継続して入院している患者

⑧65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合

- ・ $(\text{分母のうち、入院後48 時間以内に栄養アセスメントが実施された患者数} \div 65 \text{ 歳以上の退院患者数}) \times 100$

⑨身体的拘束の実施率

- ・ $(\text{分母のうち、身体的拘束日数の総和} \div \text{退院患者の在院日数の総和}) \times 100$